

啓明

啓明通信



学校教育目標

- 将来に希望をもち、豊かな知性を磨く生徒
 - 自分に厳しく、他をおもいやる生徒
 - ねばり強く、心身をたくましくきたえる生徒
- 校訓：「独立自往」

今年度実践目標

「日本一、笑顔あふれる学校」
～学校づくりの<主人公>として仲間と共に歩む生徒～



素敵な大人になってください～卒業式の式辞より～

校長 市川 恵幸

3月14日に第77回卒業証書授与式が行われ、卒業生247名が本校から巣立っていきました。卒業証書を手にした卒業生の表情は、凜として、すがすがしく、輝かしい未来に向けた力強い歩みを感じさせるものでした。

私は式辞の中で、「みんなを幸せにするような、素敵な大人になってほしい」という願いを込めたお話をいたしました。以下、その抜粋を掲載いたします。

今、皆さん一人一人のこれからの「幸せ」を願いながら、卒業証書を手渡しました。

三年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんにとって、この三年間、もしくは義務教育九年間はどのようなものだったでしょうか。

コロナ禍でスタートした中学校生活。人は、不運、不幸な時代に中学生だったんだね、というかもしれません。しかしその言葉に甘んじて、自分の不運や不幸を嘆きながら、そしてそのせいにしながら、この先の人生を過ごしていくのか、それとも自分の力でこの逆境を乗り越えていくのか。ここに皆さんのこれからの幸せを左右する大きな分岐点があるように思います。

新型コロナが五類に移行となり、間もなく二年になろうとしています。三年以上にわたるコロナ禍を通して学んだことは何だったのか。そんなことを考えながら、私は、皆さんの修学旅行での様子や、啓明祭や合唱の会での素晴らしい発表、部活動での活躍、そして授業や休み時間といった日常生活での姿を思い浮かべました。そこには、いつも皆さんの真剣で前向きの姿勢、そして明るく元気な笑顔がありました。そんな皆さんの様子を思い浮かべ、気づいたことがありました。それは、「自分の不運や不幸を嘆いても状況は何も変わらない。それならば、希望を失うことなく、今できることを存分に楽しんだほうが、幸せになれるのではないか」ということです。

幸せとは、人の数だけの答えや定義があると思っています。しかし少なくとも、次の三つのことは言えるのではないかと考えています。

一つめは、「幸せは自分の手でつかみとる」ということです。黙っていても幸せはやってきません。当事者意識をもって主体的に行動をとること。これは、いつもお話してきた「学校づくりの主人公」の延長線上にあることです。刺激的で学びのあるワクワク、ドキドキの毎日、そして笑顔の毎日を過ごすことが、幸せをつかみ取る近道なのかもしれません。

二つめは、「幸せは自分の心がきめる」ということです。幸せの基準は人それぞれです。幸せだと思えば幸せなのだろうし、不幸だと思えば不幸なのでしょう。しかし、最も不幸なのは、「自分が幸せだ」ということに気づかないことです。みなさんには、皆さんの成長を温かく、時に厳しく見守ってきてくれた保護者の方や地域の方、そして先生方などの多くの人の存在がありました。また、いつもそばにいて時には笑い、時には励まし合った仲間もいたことでしょう。そのことだけでも、どんなに幸せなことだったかしれません。

そして、三つめは「自分一人では幸せになれない」ということです。自分一人だけ幸せになっても、周囲も幸せにならなければ、本当の幸せにはつながらないように思います。自分一人だけでなく、みんなも幸せにすること。そのためには、相手に対する敬意、感謝、思いやりの気持ちを大切にしていきたいものです。

これからの人生、何度も大きな壁に突き当たることでしょう。そこから逃げるも、逃げないも自分の心次第。壁は高ければ高いほど、それを乗り越えた先に大きな成長と幸せが待っています。みんなを幸せにするような、そんな素敵な大人になってください。(後略)

◆離任される教職員の方々より

渡部 郁野先生（国語）退職

歴史と伝統のあるこの啓明中学校に9年間勤務し、そして36年間の教員人生を終えることをとてもうれしく思います。大学時代の先輩に啓明中出身の方がおられ、啓明中の自由で明るい、そして何よりも“独立自往”の雰囲気をごよく愛していました。自分が勤務し、その雰囲気を心ゆくまで満喫した9年間でした。皆様、本当にありがとうございました。

大内 宏美先生（国語）陵北中学校へ異動

相談室での3年間も、1学年所属となった今年度も、たくさんの出会いに恵まれ、楽しく充実したときを過ごすことができました。啓明中に関わる皆さん誰もが、啓明のことを大切に、誇りに思っているところが素敵だなと思います。お世話になりました。ありがとうございました。

坂本 雅春先生（社会）琴似中学校へ異動

12年間に渡って大変お世話になりました。旧校舎から現在の新校舎へ、新たなさまの策定や学校ジャージと標準服の変更など大きな動きもありました。そしてコロナ禍での休校や諸行事の中止…、変わりゆく時代を啓明中で生徒、保護者、地域の皆様と共有することができ、楽しく有意義な時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました！

柳本 美羽先生（数学）八軒東中学校へ異動

啓明中学校で過ごした6年間には、新型コロナウイルスによる休校の時期も含まれました。昨年度から啓明祭や合唱の会が従来の形に戻り、卒業式には保護者の皆様に囲まれ最終学活を行うことができ、本当に嬉しく思います。啓明中学校の活気ある行事が好きでした。今までありがとうございました。

間澤 竹大先生（理科）退職

とても楽しく充実した時間を過ごすことができました。生徒のやる気の高さを感じる行事、合唱は本当に心に残りました。これも、日頃から保護者の皆様や地域の皆様のご協力のおかげだと感じています。たくさんの良い出会いに恵まれた1年でした。ありがとうございました。

石岡 幸大先生（美術）退職

9か月間という短い間でしたが、啓明中学校で過ごした時間は何ものにも代えがたい特別なものになりました。生徒、保護者の皆様には心より感謝申し上げます。これからも、啓明中学校と地域の皆様が健やかに充実した日々が過ごせるようお祈りしております。本当にありがとうございました。

畠山 貴行先生（保健体育）柏中学校へ異動

6年間、勤務することができました。地域の皆様方、生徒の皆さん、保護者の方々には本当にお世話になりました。伝統ある啓明中学校で勤務することができ、本当に名誉でした。ありがとうございました。お元気でさようなら。

武内 一恵先生（保健体育）退職

新校舎と共に歩んだ10年間でした。その間、地震があったりコロナで休校になったりと普通の生活を揺るがすことがたくさんありましたが、皆さんの笑顔に救われた気がします。特に、朝の挨拶は私の活力の源でした。本当にありがとうございました。

笠原 恵麻先生（英語）退職

私の教員人生は、子ども時代に恩師が私の光を見つけてくださった「啓明小学校」から始まりました。今、子どもたちの光を見つける役目を果たし、同じ「啓明」の名を持つこの学校で退職を迎えることに、深いご縁を感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。「啓明」(=光を啓く)の精神を胸に、今後も教育に携わり、子どもたちの可能性を広げる活動を続けてまいります。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

木村 浩司先生（特別支援）山鼻中学校へ異動

啓明中学校には3年間勤務させていただきました。きれいな校舎、落ち着いた雰囲気の中で毎日過ごすことができました。保護者の皆様には、数々の場面でご理解、御協力をいただき、生徒とともに楽しく毎日過ごすことができました。本当にありがとうございました。

塩田 伶果先生（保健室）中の島中学校へ異動

養護教諭として初めての勤務が啓明中学校でした。文武両道の生徒たちに励まされながら、生徒と一緒に成長できた4年間でした。保護者の方々や地域の皆様にも大変お世話になり、特にコロナ禍では数えきれないほどのご協力をいただきました。今まで本当にありがとうございました。

菊地 和成さん（事務職員）啓北商業高等学校へ異動

みなさんの活気ある声や様子に元気をもらいながら過ごすことができました。1年間という短い期間でしたが、ありがとうございました。

千葉 瑞恵さん（事務職員）日章中学校へ異動

新しくきれいな校舎で、たくさんの生徒の声に囲まれて過ごした6年間でした。ありがとうございました。

加藤 寛康さん（用務員）真駒内曙中学校へ異動

施設・設備の維持管理、及び環境整備でお世話になりました。2015年完成から10年が経ったこの校舎。完成当時、見学に来た際とても綺麗で風格を感じました。当時の設計者や建築関係者の、皆さんへの思いを改めて思い起こしていました、ありがとうございました。

高瀬 翔さん（学びのサポーター）伊達市にて勤務

1年間という短い時間ではありましたが、私にとって非常に貴重な体験の連続でした。みなさんの快活でパワフルな姿から、私は毎日、元氣とエネルギーをもらっていました。啓明中学校で過ごした日々は、いつまでも忘れることはありません。本当にありがとうございました。



次年度以降の生徒会誌の作成について

日ごろより生徒会活動に対してご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。次年度より、生徒会誌の作成と廃止する運びとなりました。写真や氏名など多くの個人情報の管理が困難なこと、紙代など作成における費用の高騰によって、これまでの予算内で生徒会誌の作成が困難なことが理由です。何かご不明な点がございましたら、学校までご連絡ください。（担当 生徒会部 田中 遥 561-4168）

札幌市立啓明中学校 〒064-0809 札幌市中央区南9条西22丁目2番1号

【電話】(011)561-4168 【FAX】(011)551-4914 <http://www.keimei-j.sapporo-c.ed.jp/>

学校だより『啓明通信』 令和6年度 第8号 発行責任者 学校長 市川 恵幸